



特集2

今、高島の若手農家がアツイ!

高島青年農業者クラブに所属する若手農家 山口 修平さんが、第63回全国青年農業者会議の意見発表の部で全国2位となる農林水産省経営局長賞を受賞されました。山口さんや当クラブの若手農家に農業へのアツイ思いを伺いました。

☎ 農業政策課 ☎ (25) 8511

全国青年農業者会議とは

日本の農業の担い手として、農業や農村生活環境の改善等を実践している若者たちが、体験した成果や考えていることを発表する大会。農業を取り巻く問題を話し、新しい農業や農村の創造に役立てることが狙い。

「愛と正義」の柿農家

山口さんは、今津町深清水の柿農家で「愛と正義」を経営理念とし、山口農園の7代目として25歳の頃から就農されています。

現在は、高島青年農業者クラブの副会長として、地域の若手農家とともに地域農業を盛り上げるために、小学校での食育活動やさまざまなイベントでのPR活動など、精力的に取り組んでおられます。

地元・深清水への思いを熱く発表

今回、高島青年農業者クラブを代表して「深清水を未来につ

なぐ」をテーマに深清水に対する思いや栽培技術の向上について、全国の舞台で熱く発表をされました。

山口さんは、深清水を未来につなぐために3つの取り組みをされています。

①知名度の向上

屋号に深清水を入れ「深清水山口農園」として、経営理念である「愛と正義」のブランド柿を作り、自分をブランディングして、深清水と柿への思いや魅力を直接消費者に伝えるためにマルシェ等へ積極的に出店する。

②技術力の向上、産地のレベルアップ

柿のポット栽培や育苗で早期に収穫できるかについて研究。また、他の産地の栽培方法や観光農園を視察し、深清水の柿農家と共有。

③地域振興

所属している「南深清水FFF倶楽部」でイベントや運営を通して、他地域の方、移住者、大学生と交流し、深清水を知ってもらい、一緒に盛り上げてくれる方を募る。

高島青年農業者クラブ

高島市内の若手農家で構成された団体。食育活動や地域農業の活性化を目的に活動を行っています。現在メンバーは11人。新規メンバーを募集中です。活動内容などは、インスタグラムからご覧いただけます。次ページでは、メンバーを紹介します。



Instagramはこちらから▲

深清水を未来につなぐ

私は深清水が好きで、100年以上つながってきた柿を誇りに思っていて、深清水への愛に気づいたのが、私の農業者としての始まりです。

深清水では、若手の柿農家が少なく、柿の出荷量の減少や単価の安さなどによって、地域の閉そく感を感じ、深清水の名前と柿がなくなってしまうかもしれない、との危機感を覚えました。その時から、「私が深清水を有名にしていこう」と決心し、有名にして10年後までに深清水で柿を作りたい人を増やすことを目標にしています。

私が、「深清水はおいしい柿の産地」だと知ってもらいきっかけになり、住みたい、手伝えたいと思ってもらえる地域を目指すことで、柿農家の思いや深清水の景色を残して

いければ目標が達成できと思っています。

また、私が所属する高島青年農業者クラブは、市内の20代、30代で構成される若手農家の団体です。みんな農業に熱い思いをもっていて、栽培技術や農業経営について切磋琢磨しています。みんなと情報交換したり、協力したりしながら高島市の農業を若手の力で活性化させていけるようにがんばっています。

今後とも高島青年農業者クラブにご注目ください!

山口 修平さん
今津地域の柿農家



／ 多くの農家さんが活躍！ ／

今回の高島青年農業者クラブ以外にも、市内には活躍されている農業者がたくさんおられます。

熊谷さん、岡本さんが滋賀県農林水産表彰！

昨年12月23日（月）に滋賀県公館で滋賀県農林水産表彰の表彰式が行われ、熊谷 健一さんが滋賀県農林水産表彰 功労賞、岡本 瑞希さんが滋賀県農林水産表彰 奨励賞を受賞されました。



熊谷さんは安曇川地域で水稻栽培をされており、耕畜連携や環境こだわり農業に取り組まれるとともに、若い農業者への指導に尽力をされ、地域農業の発展に大きく貢献されました。



岡本さんはマキノ地域でイチゴ栽培をされており、食味の良いイチゴ生産の実現や、消費者のニーズにあった栽培を心がけておられ、消費者からも熱い信頼を受けてられています。

岡本さんが中日農業賞を受賞！

3月6日（木）に愛知県で第84回中日農業賞の贈呈式が行われ、岡本 真一さんが中日農業賞 優秀賞を受賞されました。

岡本さんは、今津町深清水地域を中心に「水稻と柿」の複合経営をされており、「今津柿」の産地をさらに盛り上げたいという強い思いで、若手農家の中心として産地をリードされています。また、「水稻+柿」の複合経営のモデル的経営体として、次世代の模範となられています。



情熱と愛を込めて 新たな農業者を呼び込み 農地を次世代へ

市内には、他にも多くの農家がアツイ思いや情熱を持って農業をされていますので、今後注目してください。

高島市は豊富な水で米の生産や畜産が盛んですが、果樹に関しても県内栽培面積の40%を占めており、産地化へ向けた取り組みを進めています。

全国的に農業者の著しい高齢化や担い手の減少が深刻化している中、市でも担い手確保と育成の対策が最重要課題となっています。

将来にわたって、市内の農地をはじめ、農業によって育まれてきた生活環境や文化を守っていくため、現在、市では担い手との協力はもちろん、新たな農業者を呼び込むためにさまざまな取り組みに着手しています。また、この自然豊かな高島市の農地や景観を次世代に引き継いでいくために、環境に配慮した農業の実現にも取り組んでいきたいと考えています。

高島青年農業者クラブのアツイ仲間たち

会長 平井 翔 さん

安曇川地域の米農家



クラブの会長として、同世代の仲間とともに農業の活性化のため、食育等さまざまな活動をしています。個人の営農としては、地元である上古賀の土地で食味にこだわったお米を栽培しています。新しい技術も取り入れ、毎年チャレンジする心を持って取り組んでいます！

今後は、地域の農地が耕作放棄地にならないよう、受皿となるような農家になりたいです。また、食味コンクールなどで受賞できるようにお米を作ります！

内藤 寛人 さん

新旭地域の野菜農家



近年は高島市でも高齢化や担い手不足など、農業を取り巻く情勢は厳しくなっています。だからこそ今、地域とともに支え合って、新しい形で農業を守り、若い力や外部の知恵も取り入れ、模索しながら、未来につなげるために努力したいと思っています！！

目標は地域を守りながら持続可能なもうかる農業経営をしていくことです！

また、食べていただくことで健康と笑顔になれる農作物をお届けしたいです！！

荒木 雄大 さん

マキノピックランドで果樹栽培



一から種を播いて収穫、出荷し、消費者の皆さんに届くまで一生懸命育てる、それが農業の醍醐味でもあり、達成感のある仕事だと思っています。

現在、ぶどうやさくらんぼの樹が老木化し、収穫できる量が少なくなってきたので、今後、改植をしてたくさんのお客さんに収穫体験をもらうことが目標です。

またスマート農業などを取り入れ、効率を上げられるようにしたいです！